

国際交流センター ニュースレター



〈目次〉

- チューターガイダンス
- 新入学留学生オリエンテーション
- 短期留学生等工場見学会
- インターナショナルCアワー
- 第9回アジア国際子ども映画祭に係る学校交流
- 今後の予定



チューターガイダンス

10月1日（木）、チューターガイダンスが行われた。10月に入学する短期留学生および研究生の新生活をサポートしてくれるチューターの12人が出席し、センター長から留学に必要な手続きや留意点の説明が行われた。自国を離れて日本で新しい生活を始める留学生にとって、チューターは心強い存在である。サポートを通して同世代の交流も深まることを願っている。（A208 教室 12:10～13:00）



新入学留学生オリエンテーション



10月2日（金）、10月期に新入学の正規生・研究生及び短期交換留学生オリエンテーションが行われた。正規生1人、研究生3人、短期交換留学生11人の計15人が、新生活を始めるにあたって説明を受けた。センター長から履修手続きや、ゴミの分別方法等の生活に関する説明があった後、北見警察署の土居氏から交通ルールや災害緊急時の対応に関して詳説をいただいた。留学生は自転車の乗り方やゴミ分別のルールの違いに驚きながらも、規則等を学ぶことが安全でスムーズな留学生活につながることを実感している様子だった。（A208 教室 16:20～18:00）

短期留学生等工場見学会（丸玉産業株式会社：津別町）

11月27日（金）、工場見学会を開催した。35人の学生が参加し、丸玉産業株式会社の津別工場を訪問した。工場内では原木から合板が出来る過程、木くずを無駄にしないために建設されたバイオマスエネルギーセンターなどの説明を受けた。原木の1%ほどしか廃棄物にならないという話に、学生たちは驚き感心していた。工学を学ぶ学生にとって、日本の工場を観察したり体験する非常に貴重な機会となった。あいにくの悪天候により予定していた午後の弟子屈観光は行えなかったが、バス内では留学生と日本人学生の交流が活発になされていたようで、国際交流の場としても実りある見学会となった。



「新留学生を歓迎しよう！」

10月29日（木）18：00～19：30 於：コミュニケーション・アトリウム

本学のコミュニケーション・アトリウムにて新入生歓迎会&ハロウィーンイベントが行われた。工大生の他、市民の皆様を含め総勢95人の方々に思い思いの服装・衣装でご参加いただいた。センター長の歓迎挨拶後、参加者全員で北見工大の留学生に関するテーマで「まるバツゲーム」を行った。その後、この10月に入学する院生1人、研究生3人、短期留学生11人の合計15人が日本語で自己紹介を行った。新留学生の意欲に満ちた姿がとても印象的だった。それから参加者全員がグループに分かれ、新留学生をモデル役にして新聞紙とガムテープを使った衣装作りを行った。その後の自由時間では、新聞紙コスチュームをまとった新留学生達の周りにグループの輪が出来上がり、写真を撮ったり和やかな雰囲気イベントは終了した。



カン ホンギョさん
(韓国)

韓国の江原大学から来ました。今、日本にいるのが夢のように思うほど、私は日本が大好きです。日本のことを何でもたくさん知りたいです。いろいろなことをぜひ教えてください。どうぞよろしくお願いします。

ライ ジュンイーさん
(台湾)

私は中国医薬大学から来ました短期留学生です。専門は栄養学です。同じ栄養学でも、台湾と日本では、食品群の分類が違うなど、色々と異なるところがあり、とても面白いです。趣味は音楽です。よろしくお願いします。

アイニ シチ クーディジャーさん
(インドネシア)

私はインドネシアから来ました。専攻は電気電子工学です。私は水泳がとても好きです。インドネシアでは月に2回は泳ぎに行っていました。北見は寒いのでおそらくそれほど行けないでしょう。よろしくお願いします。

インターナショナルCアワー：11月

「フィンランド・タンペレ留学体験」

11月24日（火）16：30～18：00 於：第一総合研究棟6階ミーティングルーム2



本学の協定校であるフィンランドのタンペレ工業大学に1年間留学をした機械工学科4年の岩山さんと、情報システム工学科4年の楊さんによる発表が行われた。日本でも有名な「ムーミン」発祥の地であるタンペレは、首都のヘルシンキからバスで3時間ほど北に位置し、生活費も日本とそれほど変わりがなく、治安も良くて自然に囲まれたフィンランド第二の都市であることや、タンペレ大学には約10,000の学生が在籍し（北見工業大学の約5倍）、授業は全て英語で行われ、演習や実習も多かったこと等を紹介してくれた。フィンランドで有名なお菓子「サルミアッキ」の試食では、独特の味に参加者が神妙な表情になっていた。「留学したことで自分の甘さに気づき、人間として大きく成長できた。」という発表者の言葉がとても印象的だった。

第9回アジア国際子ども映画祭に係る学校交流



「第9回アジア国際子ども映画祭北見大会」を前に、映画祭に招かれているアジア各国からの児童・生徒の内、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、韓国、中国からの高校生39人が11月26日（木）に来校した。第1総合研究棟2階多目的講義室において国際交流センター長の歓迎の挨拶と北見工業大学の説明の後、メタンハイドレート、スキーシミュレーション、QVICの研究室を見学した。学内見学では図書館と学生食堂を回り、その後は第一体育館にて在学中の留学生と日本人学生を交えての交流会を行った。空手道部と弓道部による演武、着物の着付け紹介、モンゴル留学生とウイグル出身留学生による伝統ダンスが披露され、外の寒さを吹き飛ばすような心温まる交流会となった。

今後の予定

12月8日（火）短期語学研修・留学報告会 16:20-17:50
於：C122・C211

15日（火）留学生交流のタベ 18:00-19:30
於：コミュニケーション・アトリウム

発行所：北見工業大学国際交流センター

住所：北見市公園町165

電話：(0157) 26-9370

FAX：(0157) 26-9373

E-mail：kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp



北見工業大学